

Daily Report (号外)

～1月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が2月3日に発表した2023年1月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+51.7万人と市場予想(+18.8万人)を大幅に上回る結果となりました。前月分は+26.0万人(速報値+22.3万人)に上方修正されました。業種別では、小売業が前月比+3.0万人(前月+0.1万人)、専門・ビジネスサービス業が同+8.2万人(同+3.9万人)、娯楽・接客業が同+12.8万人(同+6.4万人)と、幅広い業種で大幅に増加しました。

失業率は3.4%と市場予想(3.6%)を下回った他、平均時給は前月比では+0.3%と市場予想通りとなり、前月分は+0.4%(速報値+0.3%)に上方修正されました。前年同月比では+4.4%と前月(+4.8%)から伸びが減速しました。労働参加率は市場予想(62.3%)を上回る62.4%となり、前月(62.3%)から上昇しました。

市場反応(米国市場)

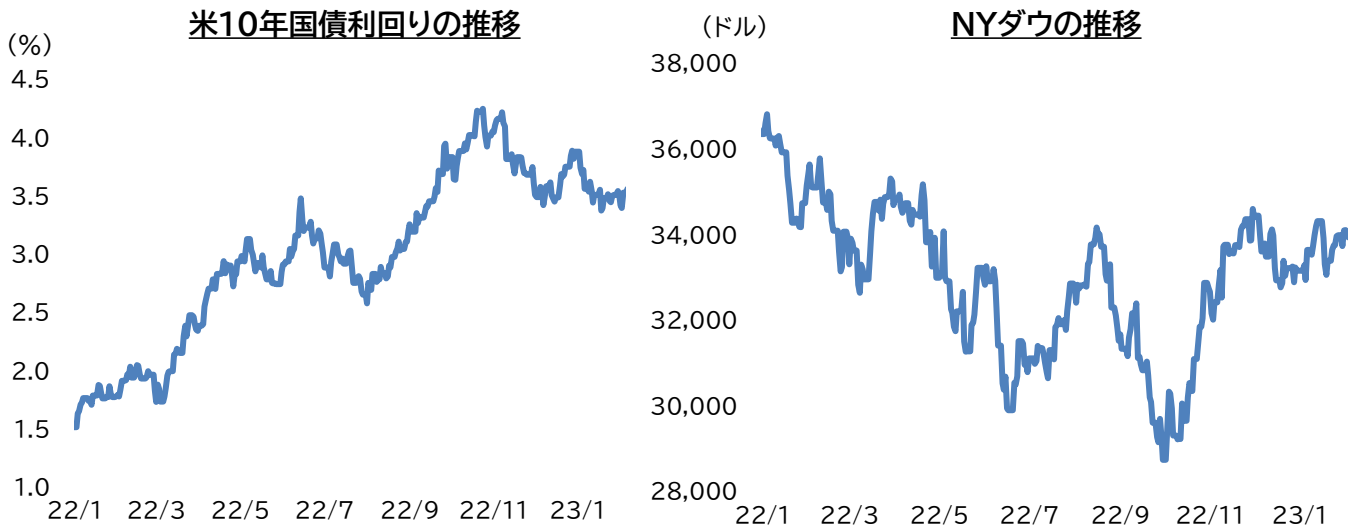
3日の米国株式市場の米国主要3指数は下落しました。

米雇用統計で雇用者数が予想以上に増加したことを受け、FRBへの利下げ期待が後退し、NYダウ平均株価は前日比▲0.38%、S&P500指数は同▲1.04%、ナスダック総合指数は同▲1.59%となりました。

米国債券市場は、米雇用統計の堅調な結果や2023年1月の米ISM非製造業総合景況指数の結果が市場予想を上回ったことを受け、経済がリセッションに陥りFRBが年末までに利下げを強いられるとの見方が後退したことから、10年国債利回りは前日比+0.13%の3.52%程度となりました。

米ドル/円は予想以上に力強い雇用統計や米ISM非製造業総合景況指数の結果を受け、根強いインフレ圧力とさらなる利上げの必要性が意識され、市場では前日比2円51銭程度円安ドル高の131.19円/ドルと大幅に上昇して取引を終えました。

原油先物市場は、堅調な雇用統計の結果を受け一時上昇するも、利上げによる世界的な景気後退懸念などの長期的な材料が意識され、WTI原油先物3月限は前日比▲3.28%の1バレル＝73.39ドルとなりました。



(期間)2022/1/1～2023/2/3 (出所)Bloomberg

評価・今後の見通し

1月の雇用統計は非農業部門雇用者数が市場予想を上回った他、失業率も予想に反して低下する等、労働需給の逼迫継続を示唆する内容でした。

2月1日のFOMCにおいて利上げ幅の縮小や、物価上昇率はやや鈍化したとの表現が加わるなど、インフレの落ち着きが意識されていましたが、今回の力強い雇用統計の結果を受けて金融引き締め継続が再度意識されることとなりました。

パウエル議長は2月FOMC後の記者会見において、「残り2回の利上げを基本線としつつ、インフレの想定以上の上振れ・下振れといったデータに則った対応を取る」という考えを示しており、今後も経済指標に一喜一憂する展開が継続すると予想します。しかし、足元で消費者物価指数(CPI)は低下基調にあることからFRBが利上げ幅の再拡大を行うとは考えにくく、依然として利上げの停止時期に注目が集まると予想します。

なお、市場の予想する3月FOMCでの利上げ確率は今月の堅調な雇用統計の結果を受けて、2月6日(日本時間)時点では+25bp予想が約100%と、25bpの利上げが確実視される状況になっています。

また、今回の雇用統計は大規模ストライキの影響等を受けたことから、正確な実態を反映しにくいとの見方もあり、目先は3月のFOMCまでに発表される2月分の雇用統計、1月及び2月分のCPIの発表に注目が集まると予想されます。

今後の株式市場の見通しとしては、米国経済の減速感や企業業績の悪化への思惑が重石となる一方、金利低下期待が下値を支え、ボックス圏で推移すると予想します。ただし、当面はFRB高官による発言や各経済指標の発表を受けた利上げの停止時期に対する思惑次第で、引き続き上下に大きく振れやすい展開を想定しています。

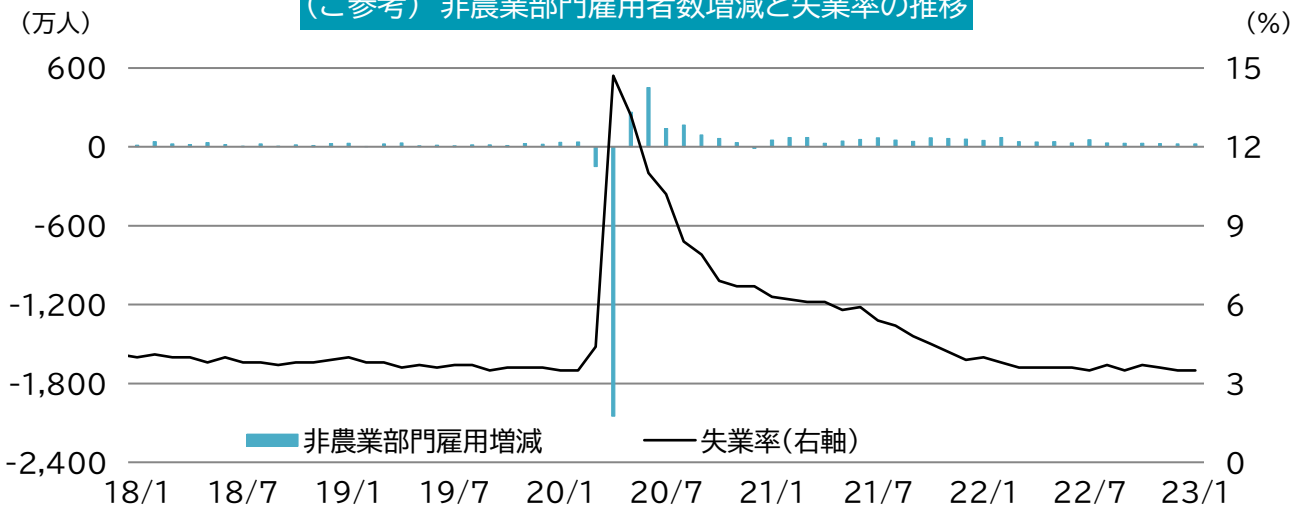
Daily Report(号外)

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米国労働省

	22/8	22/9	22/10	22/11	22/12	23/1
非農業部門	+35.2	+35.0	+32.4	+29.0	+26.0	+51.7
鉱工業部門	+3.7	+4.4	+5.7	+4.1	+4.3	+4.6
建設業	+0.8	+1.6	+1.7	+1.9	+2.6	+2.5
製造業	+3.1	+2.6	+3.7	+1.4	+1.2	+1.9
資源・鉱業	-0.2	+0.2	+0.3	+0.8	+0.5	+0.2
サービス部門	+26.9	+30.0	+24.2	+18.7	+22.6	+39.7
卸売業	+1.3	+0.8	+1.6	-0.0	+1.1	+1.1
小売業	+3.7	-1.1	-0.6	-4.6	+0.1	+3.0
輸送・倉庫業	+0.9	+1.0	+2.0	-3.7	+1.3	+2.3
情報	+0.8	+0.3	+0.3	+1.3	-0.5	-0.5
金融	+0.9	+0.2	+1.8	+1.1	+1.1	+0.6
専門・ビジネスサービス業	+4.8	+4.8	+3.6	+0.0	+3.9	+8.2
人材派遣業	+0.0	+1.1	+1.0	-4.9	-4.1	+2.6
教育・ヘルスケア業	+9.2	+8.0	+8.5	+9.5	+7.6	+10.5
娯楽・接客業	+4.8	+13.9	+6.1	+12.3	+6.4	+12.8
その他	0.6	1.0	-0.1	7.7	5.7	-0.9
政府部門	+4.6	+0.6	+2.5	+6.2	-0.9	+7.4
失業率(%)	3.7	3.5	3.7	3.6	3.5	3.4
平均時給(前年同月比、%)	5.4	5.1	4.9	5	4.8	4.4

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2018年1月~2023年1月 (出所)Bloomberg